

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【公表番号】特表2015-523205(P2015-523205A)

【公表日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-051

【出願番号】特願2015-520222(P2015-520222)

【国際特許分類】

**B 0 5 C 17/10 (2006.01)**

【F I】

B 0 5 C 17/10

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月6日(2016.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

本明細書において、特定の実施形態に関して本発明を説明してきたが、これらの実施形態は、本発明の原理及び適用の単なる一例にすぎないことを理解されたい。本発明の趣旨及び範囲を逸脱することなく、本発明の方法及び装置に対して様々な修正や変更が可能であることは、当業者には明らかであろう。したがって、本発明は、添付の特許請求の範囲及びその等価物の範囲内にある修正や変更を包含することを意図とする。本発明の実施態様の一部を以下の項目 [ 1 ] - [ 2 0 ] に記載する。

[ 1 ]

起伏のある表面をコーティングするための器具であって、

ハンドルと、

複数の離間したジオメトリを有する、しなやかにハンドルに取り付けられたアプリケーションと、

を含み、

前記起伏のある表面と接触する際に、ジオメトリが前記起伏のある表面に点接触する、器具。

[ 2 ]

前記アプリケーションが、前記複数のジオメトリを有する柔軟な微細複製材料を含む、項目 1 に記載の器具。

[ 3 ]

前記ジオメトリが、ピン、ポスト、円錐、円柱、角錐、マッシュルームヘッド、キューブコーナー及び J - フックからなる群から選択される、項目 2 に記載の器具。

[ 4 ]

前記ジオメトリが、5 0 ~ 2 0 0 0 マイクロメートルの範囲の高さを有する、項目 2 に記載の器具。

[ 5 ]

前記ジオメトリが、1 0 0 ~ 2 0 0 0 マイクロメートルの範囲のベース直径、即ち幅を有する、項目 2 に記載の器具。

[ 6 ]

前記ジオメトリが、1 平方インチ当たり 5 0 ~ 2 0 0 0 個のジオメトリ ( 1 平方センチメートル当たり 7 ~ 3 1 0 個のジオメトリ ) の範囲の割合で柔軟な微細複製材料上にある

、項目 2 に記載の器具。

[ 7 ]

前記ジオメトリが剛性である、項目 2 に記載の器具。

[ 8 ]

前記アプリケーションがパネを含み、前記ジオメトリがパネのコイルを含む、項目 1 に記載の器具。

[ 9 ]

付勢手段を更に備える、項目 7 に記載の器具。

[ 10 ]

前記パネのコイル間距離を変化させるのに効果的なテンショナを更に備える、項目 7 に記載の器具。

[ 11 ]

前記起伏のある表面と接触する際に、前記ジオメトリが、フィルム形成コーティング液の実質的に均一な層を前記起伏のある表面上に測り取るのに有効である、項目 1 に記載の器具。

[ 12 ]

前記ジオメトリが、前記起伏のある表面を損なうのを回避するのに有効である、項目 1 に記載の器具。

[ 13 ]

起伏のある表面をコーティングする器具であって、

ハンドルと、

非剛性裏材上の柔軟な微細複製材料であって、非剛性裏材によりしなやかにハンドルに取り付けられており、複数の離間したジオメトリを有する、柔軟な微細複製材料と、

を含み、

前記起伏のある表面と接触する際に、ジオメトリが前記起伏のある表面に点接触する、器具。

[ 14 ]

前記非剛性裏材がフォームパッドを含む、項目 12 に記載の器具。

[ 15 ]

前記非剛性裏材がパネを含む、項目 12 に記載の器具。

[ 16 ]

前記ジオメトリが、ピン、ポスト、円錐、円柱、角錐、マッシュルームヘッド、キューブコーナー及び J - フックからなる群から選択される、項目 12 に記載の器具。

[ 17 ]

起伏のある表面をコーティングするための方法であって、前記方法が、

ハンドルと、複数の離間したジオメトリを有する、しなやかにハンドルに取り付けられたアプリケーションと、を含む器具を提供することと、

前記器具を使用して、前記起伏のある表面にフィルム形成コーティング液を塗布することと、

を含み、

前記起伏のある表面と接触する際に、ジオメトリが前記起伏のある表面に点接触する、方法。

[ 18 ]

前記ジオメトリが、前記フィルム形成コーティング液の実質的に均一な層を前記起伏のある表面上に測り取るのに有効である、項目 16 に記載の方法。

[ 19 ]

3 次元構造体の上に均一なフィルムを形成するための方法であって、

ハンドルと、複数の離間したジオメトリを有する、しなやかにハンドルに取り付けられたアプリケーションと、を含む器具にフィルム形成コーティング液を装填することと、

前記器具で前記 3 次元基材上にフィルム形成コーティング液を測り取ることであって、

前記ジオメトリが、均一な液体コーティングを形成すべく、前記起伏のある表面に点接触している、ことと、

前記均一な液体コーティングを乾燥させて、均一なフィルムを形成することと、  
を含む、方法。

[ 2 0 ]

前記アプリケータが、非剛体裏材上に柔軟な微細複製材料を含み、前記柔軟な微細複製材料が非剛性裏材によりしなやかにハンドルに取り付けられている、項目 1 8 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

起伏のある表面をコーティングするための器具であって、  
ハンドルと、  
複数の離間したジオメトリを有する、しなやかにハンドルに取り付けられたアプリケータと、  
を含み、  
前記アプリケータが、

( i ) 複数のジオメトリを有する柔軟な微細複製材料であって、前記ジオメトリが、ピン、ポスト、円錐、円柱、角錐、マッシュルームヘッド、キューブコーナー及び J - フックからなる群から選択される微細複製材料、又は

( i i ) バネであって、前記ジオメトリがバネのコイルを含むバネ、  
のいずれかを含み、前記起伏のある表面と接触する際に、前記ジオメトリが前記起伏のある表面に点接触する、器具。

【請求項 2】

起伏のある表面をコーティングするための方法であって、前記方法が、  
請求項 1 に記載の器具を提供することと、  
前記器具を使用して、前記起伏のある表面にフィルム形成コーティング液を塗布することと、  
を含み、  
前記起伏のある表面と接触する際に、ジオメトリが前記起伏のある表面に点接触する、  
方法。